

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272700741		
法人名	社会福祉法人信和会		
事業所名	グループホームこもれびの家		
所在地 (電話番号)	〒031-0202 青森県八戸市南郷区大字島守字中野沢22-1 (電話) 0178-82-6070		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 12月 13日	評価確定日	平成 20年 2月 14日

【情報提供票より】(平成 19年 11月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	13人, 非常勤 人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(11月 26日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 83.4 歳	最低	74 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	一松堂医院・於本病院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者、職員はグループホームの必要性を認識しており、情報収集や研修を重ね、サービスの質の向上に努めている。理念を念頭におき、常に振り返りの姿勢で、一人ひとりの入居者を大切に、本人が出来る事、出来る可能性を重視して日々のケアへの取り組みが行われている。また、敷地内にあるカフェは、入居者や家族、そして地域の方々の憩いの場として利用されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	入居者の権利・義務について契約書に盛り込み、入居時に十分な説明が出来るよう改善されている。また、個人情報の取り扱いについても注意が図られ、十分な取り組みがなされていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で実施しており、外部評価を得て職員等に公表し、一年のケアサービスの見直しの機会と捉えている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームの取り組みについて毎回説明し、理解していただいている。町内の行事参加や、ホームでの行事へ招くなど交流を大切にしている。防災訓練等についても会議で語り、協力が得られている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時や電話連絡の際はコミュニケーションを深めている。さらに運営推進会議への家族参加もあり、意見や苦情を表せる機会作りもしている。また、出された意見や要望は会議にて話し合い、反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の方々へ理解していただけるよう、町内の行事や、学校行事に積極的に参加したり、ホームでのバーベキュー会に参加してもらったりと交流が持てている。また、災害時の協力体制も確立されてある。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らしつづけることを支えていくサービスとして、地域生活の継続や地域との交流を謳った理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を具体化したケアの提供を実施できるよう会議で意識付けが図られている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の一員として町内会の協力をいただき、地域活動の情報収集に努めている。また、敷地内には、気軽に立ち寄ってもらえるようにと建てられた『カフェ』があり、地域住民との交流ができる機会になっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全員で自己評価に取り組むようにしている。また、外部評価の結果を踏まえ、改善にむけて具体策の検討や実践につなげるための努力をしている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、会議が実施されており、ホームの検討事項及び経過報告をすると共に、地域の協力を得ながらサービスの向上へ取り組んでいる。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、運営に関する相談を持ちかけ、考え方や実態を共有しあい、問題解決に繋げている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し、全職員の理解・向上を行なっている。必要と思われる入居者には活用できるよう支援している。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は、虐待防止や抑制防止の外部研修を受け、全職員の理解を深めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は、丁寧に時間をかけ説明し、同意を得ている。特にリスクや状態の変化に対する対応も説明し、同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話連絡にて近況報告し、金銭管理は出納帳に記入し、毎月、写しを発送することで確認ができています。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族には、運営推進会議時や面会時に意見を頂けるよう機会を作り、サービスに反映させていく取り組みがなされていた。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員によるケアを提供している。やむを得ない異動等の場合には、入居者が大きなダメージを受けないよう、引継ぎの面で十分な期間をとる配慮がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外で開催される研修には、なるべく多くの職員が参加できるよう配慮されている。研修報告会も実施しており、職員間で情報交換を行なっている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や交流会に参加し、事業所外の情報交換や経験をケアに活かし、質の向上に励んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の納得を得ての利用は少ないため、ご家族の協力を得、急な環境変化とならないよう、馴染みの物を持ってきて頂き安心感を持ってもらうような対応を実施している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する、される側という意識をもたず、入居者の歩まれてきた人生経験や得意とするものを大切に、和やかに生活できるような場面作りが感じられる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で声かけ、把握に努めている。言葉や表情、行動の真意を推し測り、確認をとり、生活を支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者が自分らしく暮らせるよう、本人や家族の意向が盛り込まれてあり、日々の生活記録を重視し、評価、介護計画の作成に活かしている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報を確認し、介護計画は定期的に評価している。また、職員が記録する入居者の状態変化や状況、家族・本人の要望に応じて見直しを行なっている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者や家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出支援や通院支援等に柔軟に対応し、個々の満足度を高める努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院は基本的に家族となっているが、不可能な時には職員が代行するようしており、利用契約時に説明し、同意を得ている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応については、入居時に同意を得ている。また、状態の変化時はその都度、ご家族や医師と相談を行い支援につなげている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議時に職員へ意識付けさせ、日々の関わりに関しても職員間で振り返り、入居者の尊厳、個人情報の保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課に縛られることなく、個々の体調や希望、気持ちを尊重した臨機応変な個別支援を実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と入居者が一緒に食事をとり和やかな雰囲気、入居者の状態に応じ、片付けや茶碗洗いがなされており、職員のさりげない声かけやサポートが見受けられた。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴曜日は定めているものの、希望に合わせて入浴できるように配慮している。また、入浴日以外は足浴を行うなど工夫されている。</p>		<p>曜日を決めずに入浴出来る事を目標として現在取り組んでいる最中である。実現に向けての努力を期待したい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりが何らかの役割を持って意欲的に活動できるよう、声掛けや得意分野を広げて、張り合いや喜びのある生活への配慮がなされていた。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々のニーズに応じて、心身の活性につながるよう日常的に散歩、買い物、ドライブ等に出掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所の中で実施し、認識の共有を図っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>入居者が外出しそうな様子を察知した場合、さりげなく声をかけたり、一緒についていく等安全面に配慮して自由な暮らしをささえるようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の防災訓練を実施している。運営推進会議で地域の協力体制もできており、また、消防署の協力を経て避難訓練、非難経路の確認を行なっている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分補給量を個々に記録されており、一人ひとりの摂取状況が把握できている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染マニュアルが作成されており、消毒方法は徹底されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者にとって使いやすい馴染みの物を置き、くつろげるスペースをつくり、居心地の良い空間をつくっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのものを持ち込んで頂けるよう、ご家族への説明も出来ており、家電製品が持ち込まれており、その人らしい個性が感じられる環境が出来ている。</p>		

 は、重点項目。